

北海道内建設業者の倒産動向調査 (2024 年)

建設業者の倒産件数、前年に続いて高水準で推移

～ 負債 1 億円未満が 7 割を占め、資材高騰・人手不足による影響も～

資材価格の高騰や人手不足の顕在化、人件費の高騰など建設業を取り巻く環境は厳しさが続いている。こうしたなかで 2024 年の道内の建設業者の倒産件数は急増を辿った前年に並ぶ 62 件と引き続き高水準で推移、負債総額は前年比 17.8%増の 81 億 500 万円と 3 年連続で増加、2014 年以來の高水準で推移した。

1. 道内建設業者の倒産推移

公共工事の削減など建設市況が悪化した 2010 年～2012 年当時には道内では年間 100 件を超える建設業者の倒産が発生していた。

2012 年 12 月に発足した第 2 次安倍内閣以降は、異次元の金融緩和政策を背景に国土強靱化に向けて地域のインフラ整備や災害復旧工事など積極的な財政出動による景気対策が行われ、建設業界にとっても追い風となった。

そうしたなかで道内の建設業者の倒産件数は減少を辿り、コロナ禍前年の 2019 年には 42 件まで減少した。その後、コロナ禍対策としての実

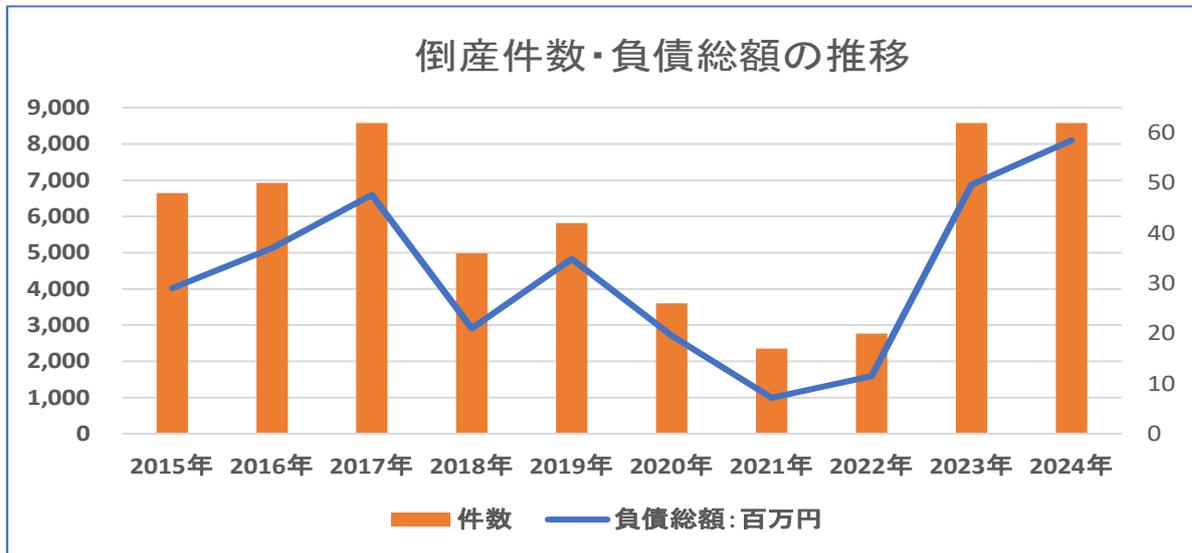
質無利子・無担保によるゼロゼロ融資や各種補助金などが手元の資金繰りの下支えとなり、年間の倒産件数は 2020 年が 26 件、2021 年が 17 件、2022 年が 20 件と減少、小康状態が続いた。しかし、2023 年は前年比 210.0%増の 62 件と急増、2024 年も同数となり、高水準で推移している。

■北海道内の建設業者の倒産件数・負債総額推移

	件数	前年比 増減 (%)	負債総額 (百万円)	前年比 増減 (%)	全体の倒産 件数に占め る比率 (%)
2010年	118	6.3	18,771	▲37.7	35.9
2011年	112	▲5.1	18,045	▲3.9	33.0
2012年	119	6.3	19,643	8.9	29.8
2013年	77	▲35.3	516,810	2531.0	24.9
2014年	61	▲20.8	10,928	▲97.9	21.7
2015年	48	▲21.3	4,022	▲63.2	18.1
2016年	50	4.2	5,129	27.5	19.5
2017年	62	24.0	6,594	28.6	23.4
2018年	36	▲41.9	2,912	▲55.8	16.7
2019年	42	16.7	4,830	65.9	19.7
2020年	26	▲38.1	2,704	▲44.0	15.0
2021年	17	▲34.6	993	▲63.3	12.1
2022年	20	17.6	1,591	60.2	10.5
2023年	62	210.0	6,878	332.3	24.0
2024年	62	0.0	8,105	17.8	23.7

(負債総額 : 百万円)

(件数)



2. 2024年は前年に並ぶ62件、負債総額は前年比17.8%増の81億500万円

2024年の道内の建設業者の倒産件数は前年比横ばいの62件、負債総額は同17.8%増の81億500万円と増加を辿った。負債総額は3年連続の増加で2014年以来、10年ぶりの高水準。月別の倒産件数を見ると、1月～12月の各月で発生した。

道内の企業に

おいては原材料価格の影響などが企業収益を圧迫、加えて人手不足が顕著となるなかで、人件費の高騰や受注機会の喪失といった事態にも直面した。また、ゼロゼロ融資の返済が最後のヤマ場を迎えるなかで、金融機関に対する返済の見通しが立たず行き詰まりを余儀なくされたケースも発生した。

月	2023年		2024年		前年同期比 (%)	
	件数	負債	件数	負債	件数	負債
1	4	537	7	460	75.0	▲ 14.3
2	2	770	3	40	50.0	▲ 94.8
3	10	355	6	427	▲ 40.0	20.3
4	7	1,281	1	35	▲ 85.7	▲ 97.3
5	4	735	6	394	50.0	▲ 46.4
6	1	27	2	157	100.0	481.5
7	6	439	7	2,605	16.7	493.4
8	8	585	4	137	▲ 50.0	▲ 76.6
9	2	99	7	1,848	250.0	1766.7
10	7	1,264	8	512	14.3	▲ 59.5
11	2	44	4	520	100.0	1081.8
12	9	742	7	970	▲ 22.2	30.7
合計	62	6,878	62	8,105	0.0	17.8

3. 負債額別～1億円未満が全体の7割を占める

負債額別の内訳を見ると「5000万円未満」が過半数の31件(構成比50.0%)で最も多く、「5000万円～1億円未満」の13件(同21.0%)と合わせた負債1億円未満が全体の71.0%を占めた。

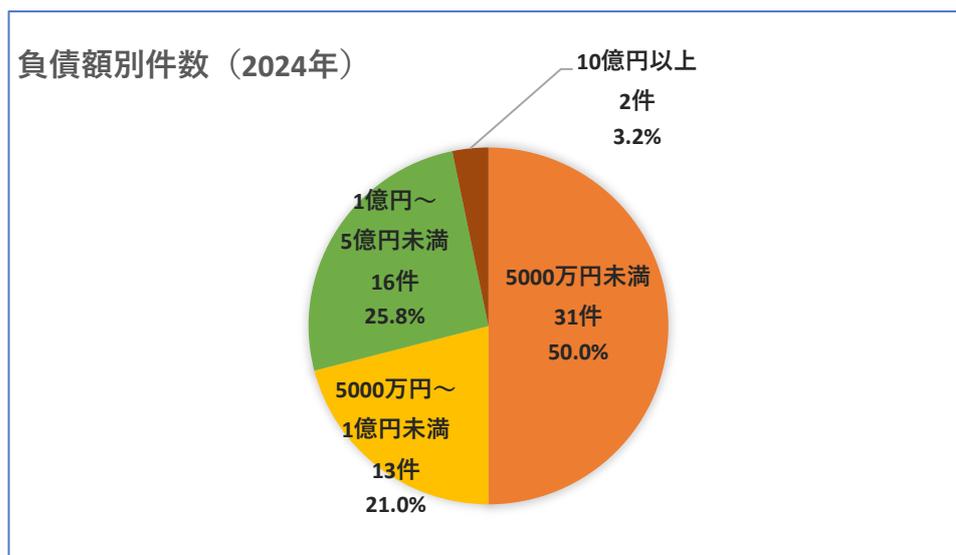
また「1億円～5億円未満」が16件で25.8%を占めた。

■負債額別

負債額	2023年		2024年		増減率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
5000万円未満	26	637	31	894	19.2	40.3
5000万円～1億円未満	18	1,243	13	880	▲27.8	▲29.2
1億円～5億円未満	15	3,096	16	2,831	6.7	▲8.6
5億円～10億円未満	3	1,902			▲100.0	▲100.0
10億円～50億円未満			2	3,500	-	-
50億円～100億円未満					-	-
100億円以上					-	-
合計	62	6,878	62	8,105	0.0	17.8

負債総額単位：百万円

「5億円～10億円未満」は発生しなかったものの、負債10億円を超える大型倒産は、入江管財(株)〈旧商号：北興工業(株)〉(室蘭市、7月特別清算、元・総合建設業、負債21億円)、(株)N3プランニング(札幌市、9月破産、商業店舗の改修工事、同14億円)の2件(同3.2%)発生した。



4. 資本金別～「100万円～1000万円未満」が39件、構成比62.9%で最多

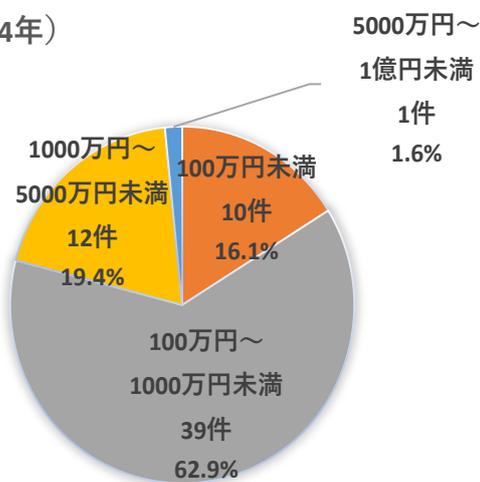
■資本金別

資本金	2023年		2024年		増減率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
個人経営	3	98			▲ 100.0	▲ 100.0
100万円未満	1	50	10	319	900.0	538.0
100万円～1000万円未満	38	3,286	39	3,003	2.6	▲ 8.6
1000万円～5000万円未満	19	2,914	12	2,683	▲ 36.8	▲ 7.9
5000万円以上1億円未満	1	530	1	2,100	-	-
1億円以上					-	-
合計	62	6,878	62	8,105	0.0	17.8

負債総額単位：百万円

資本金別では、「100万円～1000万円未満」が39件（構成比62.9%）で最も多く、「1000万円～5000万円未満」が12件（同19.4%）でこれに続いた。以下、「100万円未満」が10件（同16.1%）、「5000万円～1億円未満」が1件（同1.6%）だった。

資本金別件数（2024年）



5. 主因別～「販売不振」が構成比 67.7%を占め最多

■主因別

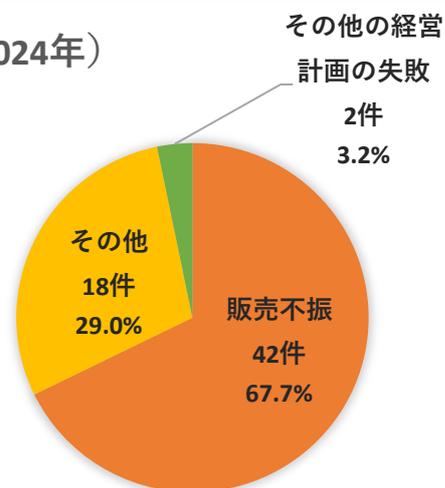
主因		2023年		2024年		増減率 (%)	
		件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
	販売不振	38	2,454	42	6,786	10.5	176.5
	輸出不振					-	-
	売掛金回収難	3	1,302			-	-
	不良債権の累積					-	-
	業界不振	1	68			-	-
不況型合計		42	3,824	42	6,786	0.0	77.5
放漫経営						-	-
設備投資の失敗						-	-
その他の経営計画の失敗				2	224	-	-
その他		20	3,054	18	1,095	▲ 10.0	▲ 64.1
合計		62	6,878	62	8,105	0.0	17.8

負債総額単位：百万円

主因別では、「販売不振」が42件（構成比67.7%）で最も多く、「不況型倒産」も同数となった。

また経営者の死亡などを含む「その他」は18件（同29.0%）、「その他の経営計画の失敗」が2件（同3.2%）だった。

主因別件数（2024年）



6. 地域別～「石狩」が34件、構成比54.8%で最多

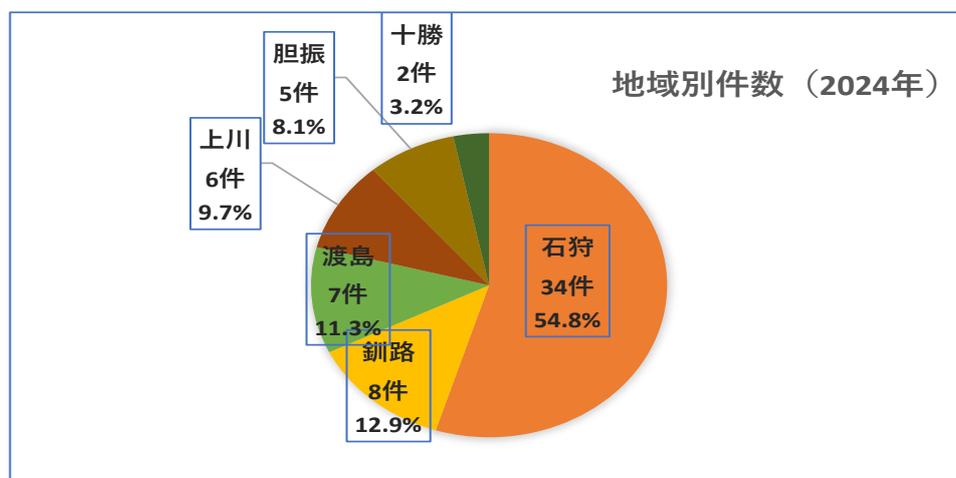
■地域別

地域	2023年		2024年		増減率 (%)	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
石狩	29	4,740	34	4,240	17.2	▲ 10.5
空知	4	161			-	-
後志					-	-
渡島	11	386	7	621	▲ 36.4	60.9
檜山					-	-
胆振	7	647	5	2,334	▲ 28.6	260.7
日高					-	-
上川	6	615	6	409	0.0	▲ 33.5
留萌					-	-
宗谷					-	-
オホーツク					-	-
釧路	2	76	8	418	300.0	450.0
根室					-	-
十勝	3	253	2	83	▲ 33.3	▲ 67.2
合計	62	6,878	62	8,105	0.0	17.8

負債総額単位：百万円

地域別では「石狩」が34件（構成比54.8%）で最多、「釧路」が8件（同12.9%）、「渡島」が7件（同11.3%）でこれに続いた。

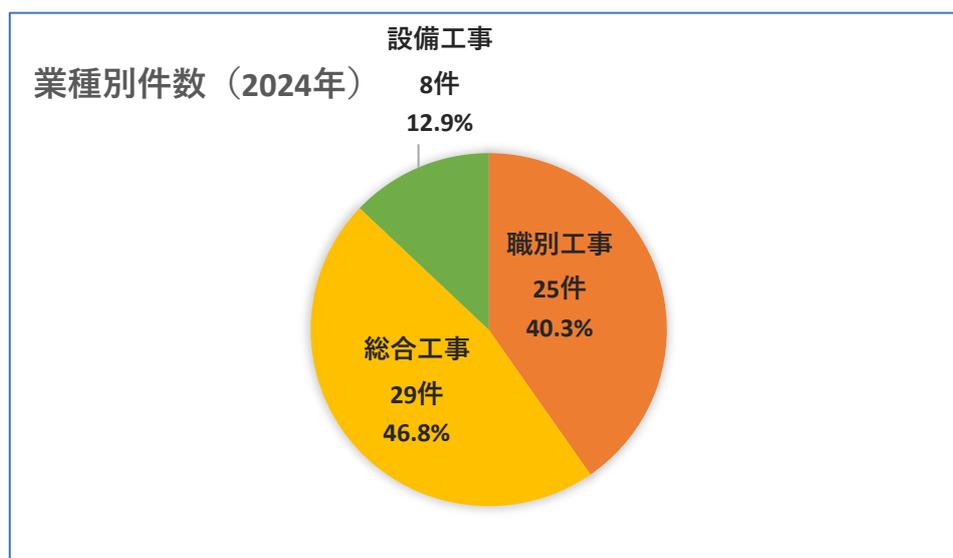
以下、「上川」6件（同9.7%）、「胆振」5件（同8.1%）、「十勝」2件（同3.2%）だった。



7. 業種別～総合工事が29件、構成比46.8%を占める

2024年に倒産した建設業者62件の業種別内訳を見ると、総合工事が29件（構成比46.8%）で最も多く、職別工事が25件（同40.3%）でこれに次いだ。

設備工事は8件（同12.9%）だった。



株式会社帝国データバンク札幌支店

【問い合わせ先】 情報部 柳澤・渡辺・松田

TEL : 011-272-3933 (直通)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。